

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第21号 平成19年 9月9日

初回悔やまれる先発政司、打では久々2安打、惜しくも猛打賞逃がす

## 同一チームに2連敗 初の悪記録



9月8日ホーム大黒にて、今シーズン2度目の対戦である、Bakersを迎えオープン戦を行った。今日の先発は、前回のリベンジを果たしたい政司。立上り先頭打者をサード内野安打で出塁させ2盗、3盗を許し、早くも1アウト3塁とピンチを迎えた。3番打者ピッチャー前のラッキーな内野安打、4番が四球を選び、1アウトフルベースとピンチは続いた。5番をショートフライにし、2アウトを取ったものの、6番にレフト前に運ばれ、且つ今日レフトに入った本橋が痛恨のエラーを犯し、2点を献上してしまった。続く打者のPBの間に3点目を与え、後から振り返ると、この3点が最後まで非常に重く押し掛かり、悔やまれる立上りであった。政司曰く「アップが足りなかった・・・」とある様に、やはり何事においても段取りは非常に大事である。後の回が淡々と進んだだけに、非常に悔やまれる立上りであった。打線においては、またまた寂しい貧打で、5安打では勝てないでしょう！ミートポイントの要修正である、先頭打者翼、ライト定着の泉においては、守備が堅実になってきただけに、早くの打力復活が望まれる。しかし、その中でも今期打線低迷の政司が2安打、監督松下のヒットは明るい材料である。まだまだ残暑が残る中での戦いは、我がチームに非常に重く押し掛かるが、熱さからくるダラケ、怠慢なプレーが無い事は、メンバーの勝利への意気込みが感じられ、まもなく始まる各種大会の後半戦へは、難なく突入出来ると信じて終わらないゲームであった。